

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 4 月 16 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	中尾 将人
研究課題	最適通貨圏理論に関する理論的分析				
研究キーワード	最適通貨圏理論, ユーロ, 景気循環	当年度計画に 対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	10.人や国の不平等をなくそう	該当なし	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

本研究では、「ケインズ動学を用いた景気循環の安定性の観点から最適通貨圏条件を考察することで、最適通貨圏理論の枠組みを再構築する」ことを課題とした。そしてその課題達成のために、ケインズ動学の観点から最適通貨圏条件を整理することを目的とした。特に、ケインズ動学を用いた景気循環の安定性の観点から、ユーロ圏の財政政策と ECB の金融政策とによるマクロ経済政策について分析した。

2. 著書・論文・学会発表等

(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

【論文 (査読あり)】

特になし

【著書・論文 (査読なし)】

特になし

【学会発表等】

第 13 回ケインズ学会全国大会

「小国開放経済における経済開放度が景気循環の安定性に与える影響: 固定相場制と変動相場制との比較」

2023 年 12 月 3 日

3. 主な経費

研究に必要な書籍などの購入に使用した。

4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)

科学研究費助成事業 若手研究 2021 年度～2023 年度, 「EU 共同債による景気循環の同期性への影響と最適通貨圏「メタ条件」の充足」 課題番号: 21K13292

(本文は 2 ページ以内にまとめること)